

平成24年度事業報告

平成24年度の(社)全国脊髄損傷者連合会の主な活動は下記の通りです。

1、脊髄損傷に関する情報提供事業

【1】脊損ニュースの発行

“手に取ったうれしさ”が実感できるような脊損ニュースの紙面作りを今年度もめざしてきました。ニュースは会員と直接つながる窓口として、一層身近に感じられるような内容に心がけてきました。

公益社団法人への移行を控え、大事な節目の今年度。それに向けてさまざまな情報提供を行ってきました。また、障害者自立法をはじめ種々の法律改正の動きに合わせ、その動きを伝えてきました。やはり当事者からの発言が今後の障害者施策に大きく貢献するであろう。その立場に立った記事を適時掲載してきました。

今後も親しまれる機関誌であるために、会員各自、各県支部からの原稿を募っていきたい。

【2】インターネット関連事業

(1)インターネット活動については、ホームページの管理・運営を継続的に行っております。

会員ID・パスワード発行者数とML登録者数は、徐々にではありますが確実に増えておりますが、掲載内容については不十分といわざるを得ません。また、掲示板への書き込みなど現在、会員限定エリアへ入るための会員IDとパスワードは244(+3)名の方へ発行致しました。一般公開されたMLのメンバーは316(+1)名、事務処理用に設けたML(ネットオフィス)も41支部の登録がされております。

(2)インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」ポータルサイトの運営について

新しいサーバーシステム環境での構築作業(OS、データベース、開発環境、検索エンジン、全てを今回一新しており、その後の進捗は次の通りで、現在宿泊施設側にリニューアルの完了案内とIDとパスワードを提供して、データの確認をしてもらう予定にしている。

「株キロックスとの合同会議」

12月16日(日)、ロックシステム本社会議室(新子安)に於いて、株キロックスとの合同会議を開催した。(全脊連出席者) 妻屋、赤城、千葉、(株キロックス出席者) 福井、小原、山崎

①システム入れ替えについての報告

- ・新サイトご紹介
- ・現在試験用アドレスは、<http://www.master.raqoo.kloxsv.com/>
- ・テストホテルを作成しておためしいただきたい。

②ユーザー画面について

- ・バリアフリー対応は5項目中の星の数で表示する。
- ・施設の場所は、住所からgoogleの地図を呼び出すことにより、地図画像の登録作業がなくなり、また地図の表示が統一できる。

③ホテル用画面について

- ・記事の登録フォームを統一、簡単になった。実際の操作画面は3画面(施設情報更新、記事投稿、記事管理)
- ・新規登録時はメールにて存在確認を行う

④システム管理画面について

- ・ 管理者専用アドレスからのみログイン可能
- ・ 新規登録があったときの通知機能あり
- ・ 施設に成り代わってログイン・操作もできる
- ・ 不適切なホテルを無効（停止）に出来る

⑤移行について

- ・ 既存データの状況
- ・ 登録数について、250件中233件を手動にて登録済み
- ・ 今回のデータ移行時の確認で10件程度のホテルは既に廃業していた模様

⑥移行の手続きについて

- ・ 施設側にお願いする作業がある
- ・ データが正確かどうかの確認
- ・ 過去にホテル側にて登録したお知らせ、画像データは手動で移す必要がある。
- ・ 案内を送った後には電話等にて確認が必要か

⑦使い方について

- ・ 通知には画面の画像があった方がよいのでは
- ・ 使い方についてはオンラインでアクセス可能で良いのではないかと（紙の送付は不要）
- ・ リリース日程
- ・ 数が集まったらではなく、まずはスタートして充実させる方がよいのではないかと
- ・ リリース日と案内発送日を合わせる。1月半ば～2月
- ・ キロックス側はリリースできるように準備する。

⑧案内文の作成について

- ・ 既存ホテル
- ・ リニューアル完了のご報告
- ・ アクセス・内容確認・入力をお願い
- ・ 案内文にID・パスワードを入れておく
- ・ 新規ホテル
- ・ 新規ホテル用意案内文を用意する
- ・ 無償で利用できることは記載必要
- ・ 送り先のデータを共有する（キロックス/福井）

【3】福祉制度の関連資料等の配布

各県支部及び各理事に送付した事務関連資料や制度等の関連資料をMLのほかにも文書による送付を行いました。以下はその詳細です。

5月6日 公益法人移行認定申請に伴う各支部の代議員とその補欠の選出についての要請
「代議員定数の算定結果報告」「代議員選挙結果報告書」

5月6日 支部正会員数の確定に関するご確認についてのお願い(再通知)
平成24年度第11回総会青森県大会議案書の送付について
「委任状」「代理人依頼報告書」

5月21日 委任状の再送付について（正）（誤）表

6月14日 平成24年度ブロック会議 本部提案議題

6月29日 第84回理事会議事録

9月14日 第85回理事会議事録

10月9日 第86回理事会議事録

- 10月30日 第87回理事会議事録
11月28日 要望書の提出について
国土交通省要望書、一般社団法人全国銀行協会要望書
12月10日 第88回理事会議事録
平成25年
1月22日 「障害を理由とする差別の禁止に関する法制」についての
差別禁止部会の意見（冊子）の送付
2月12日 第89回理事会議事録 厚生労働省他要望書、期日報告書
脊髄損傷者の社会参加ガイドブックの送付
「Together」3 褥瘡
（一般社団法人日本損害保険協会 2012年度自賠責運用益拋出事業）
2月20日 脊損ニュース合本号（2012）の送付について
3月3日 第12回総会富山県大会開催要項送付について（富山県支部）
3月30日 第90回理事会議事録（拡大）

【4】全脊連の活動成果物等の無償提供

ピアサポート活動や新入会員の勧誘に必要なツールとして、各支部をはじめ、病院、福祉施設、関係機関など広く一般の方にも要請に応じて提供しましたが、ガイドブック「Together」

1. 排泄管理編 と2. 車いす編 は、在庫がなくなり増刷する予定にしました。
- (1) 入会ガイド「明日から元気ケア」
 - (2) DVD“TOMORROW”～新たな扉の向こうへ～
 - (3) 脊髄損傷患者の社会参加ガイドブック「Together」3. 褥瘡
 - (4) ピアマネジャー養成研修テキスト改訂版
 - (5) 「障害者制度に関する資料」

2、脊髄損傷者の社会参加推進支援事業

【1】東日本大震災の被災脊髄損傷者への支援活動

(1) 平成24年度における支援金の追加配分

平成23年3月11日の東日本大震災で全脊連の岩手県、宮城県、福島県の各支部において、家屋の全壊や半壊、一部損壊等の被害を受けた会員は合計93人にもものぼり、改めて自然災害の恐ろしさを覚えました。全脊連では、早速4月号の脊損ニュースとホームページで支援金の募集を始めましたが、全国の会友の皆様から暖かいご支援をいただきました。

その結果支援金は、最終的に合計700万円余りが集まり、募金活動を終了しました。

支援金は、東北ブロックの小林理事が配分委員長となり、被災3県の支部代表者による配分委員会で配分案が検討され、第1回目の配分は平成24年2月までに合計591万円がそれぞれ被災会員に配布されました。

支援金は、さらにその後90万円が集まり配分委員会は、被災3県に次のように追加配分することを決めました。

(2) 岩手、宮城、福島の被災会員へ50万円の追加配分

	全壊	半壊	一部損壊	計	率	×50万	配分金額
岩手県	800.000	70.000	10.000	880.000	15%	7	75.000
宮城県	2.200.000	1.260.000	430.000	3.890.000	66%	33	329.000
福島県	600.000	490.000	50.000	1.140.000	19%	10	96.000
総計	3.600.000	1.820.000	490.000	5.910.000	100%		500.000

(3) 岩手県支部へ車両での支援に対して40万円の追加配分を行った。

大震災の支援車（ワゴンR）経緯

- 平成23大濱副理事長のご厚意により、岩手県の被災地3カ所に3台の支援車を派遣いただけるというお話を頂きました。保管場所とボランティア運転手の依頼を受け、山田町の佐藤多智男（岩手県支部の会員）氏から保管場所と運転手を引き受けていただきました。
- 平成23年12月に車両を借用し、ニッシン自動車から手動式装置を取付けて頂き（無料）、タイヤ交換（スタッドレスタイヤ）し、支援物資・病院等への送迎をはじめ。
- 平成24年1月から現在まで、車検を取り週二回から三回程度山田町内の障害者の通院・買い物等の送迎を佐藤夫妻で行っている。

※ 支援車の維持費用及びガソリン代は、平成24年3月まではせきずい基金様より支援を頂きました。

- 平成24年4月からは、佐藤多智男氏が全てを支払っています。

そこで、岩手県支部で日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクトの生活・交流支援活動助成に申請中です。共同募金会の助成金と全脊連の義援金で、支援車維持費、経費等に当てる予定です。平成25年3月まで支援車の運行を考えています。

平成24年10月31日 全国脊髄損傷者連合会 岩手県支部支部長 阿部容子

(4) 「東日本大震災復旧・復興支援シンポジウム」の開催

このシンポジウムは、6月2日にホテル青森で開催された第11回全国総会青森県大会の会場で広く一般公開されました。出席した各パネリストがそれぞれ、「災害時における障害者の避難とその後の生活について」実際に家屋や自家用車が津波にのみ込まれるなどの深刻な被害受け、過酷な状況に追い込まれたエピソードなどが報告されたほか、被災した各県支部のパネリストから災害時の福祉避難所や仮設住宅についての問題点が指摘され、災害時要援護者の避難対策について意見交換が行われました。

シンポジウムのパネリストは下記の通り。

阿部 容子	全国脊髄損傷者連合会岩手県支部長
三浦 重泰	全国脊髄損傷者連合会宮城県支部長
比佐あとむ	全国脊髄損傷者連合会福島県支部副支部長
大濱 眞	全国脊髄損傷者連合会副理事長
妻屋 明	全国脊髄損傷者連合会理事長
司会・進行	
蛭名 信	全国脊髄損傷者連合会青森県支部 前支部長・現相談役

【2】脊髄損傷者へのピアサポート事業（2012年度自賠責運用益拠出事業）

1. 脊髄損傷者に対するピアサポート事業の実施

2012年度の一般社団法人日本損害保険協会助成による「脊髄損傷当事者による脊髄損傷者への精神面を中心とした支援事業」を実施しました。

(1) ピアサポート事業の実施

実施支部	グループ相談	個別ピアサポート	ロールモデル派遣	打合せ	合計
宮城県支部		39			39
山形県支部	25	16			41
福島県支部		5			5
埼玉県支部	5	83	5		93
千葉県支部	15	6	2		23
神奈川県支部		7		4	11
長野県支部		8			8
熊本県支部		1			1
大分県支部	2	30			32
沖縄県支部		65			65
合計	47	260	7	4	318

(2) ピアマネージャー現任研修会の開催

実施ブロック	開催日	開催場所
東北ブロック	10月14日	コラッセふくしま（福島県支部主催）
関東ブロック	1月27日	ホテルレイクビュー水戸（茨城県支部主催）
九州ブロック	8月4日・5日	福岡県総合福祉センター（福岡県支部主催）
九州ブロック	10月13日	サンバリーアネックスホテル（大分県支部主催）

【3】省庁交渉・ロビー活動及び民間法人等への政策提言活動

1. 障害者政策委員会

(1) 経緯

平成24年4月1日の改正障害者基本法の施行により、従来の中央障害者施策推進協議会および障害者制度改革推進会議は、障害者政策委員会に発展的に改組された。委員長には石川准氏（静岡県立大学国際関係学部教授、視覚障害者）が就任し、当会からは大濱が委員に就任している。

(2) 障害者基本計画の策定に向けた意見具申

政府が障害者基本計画を策定する際には、障害者政策委員会が内閣総理大臣に対して意見具申を行い、省庁間で調整を行ったうえで、閣議決定することとされている。（障害者基本法第11条第4項）。

平成25年度からの新たな障害者基本計画について、障害者施策委員会は、平成24年度に5回の会合を開催し、また、政策分野ごとに6つの小委員会をそれぞれ3回ずつ開催し、平成24年12月17日に「新『障害者基本計画』に関する障害者政策委員会の意見」を取りまとめた。

また、小委員会とその担当分野については、以下のとおり（※は大濱が所属した小委員会）。

■第1小委員会

▼初等中等教育におけるインクルーシブ教育システムの構築について

- ▼高等教育における障害学生支援
- ▼障害者が文化的諸活動に参加しやすい環境の整備（ソフト・ハード両面）
- ▼初等中等教育における教育内容及び教育支援体制の整備（就学相談・就学先決定、合理的配慮及び基礎的環境整備、等）

■第2小委員会

- ▼障害者の就労施策全体の実施状況について
- ▼障害者雇用について
- ▼福祉的就労について
- ▼所得保障等について（年金、諸手当、経済的負担の軽減、等）
- ▼就労施策に関するその他の事項について（自営業・起業への支援、等）

■第3小委員会（※）

- ▼障害者の消費者被害の事前防止及び被害からの保護
- ▼選挙等における必要な配慮の提供、成年後見制度と選挙権について
- ▼公的活動への障害者の参画の拡大（審議会委員への登用の促進、等）
- ▼司法手続における必要な配慮の提供及び研修の実施
- ▼障害を有する受刑者・出所者等に対する処遇及び支援の在り方

■第4小委員会（※）

- ▼障害福祉サービス等の実施状況について
- ▼在宅サービス等について（居宅支援、移動支援、地域移行、等）
- ▼日中活動系事業及び施設サービスについて
- ▼サービス基盤について（質の向上、人材確保・育成、等）
- ▼相談支援体制の構築について（成年後見制度の利用促進等を含む）
- ▼障害児支援について
- ▼保健の増進、医療・リハビリテーションの提供について
- ▼医療・リハビリテーション、福祉用具等に関する研究開発の推進について（障害の原因となる傷病の予防等についてを含む）

■第5小委員会

- ▼障害者のための住宅の確保
- ▼公共施設及び交通機関等のバリアフリー化の推進
- ▼情報バリアフリー化の推進

■第6小委員会

- ▼障害分野における国際協力の推進
- ▼防災に関する施策
- ▼東日本大震災からの復興と障害者
- ▼防犯に関する施策

（3）差別禁止部会

障害者差別禁止法制については、平成23年6月29日閣議決定「障害者制度改革の推進のための基本的な方向について」において、平成25年の通常国会に法案を提出することとされている。このため、障害者制度改革推進会議差別禁止部会（平成22年11月～平成24年7月）および障害者政策委員会差別禁止部会（平成24年7月～9月）において、合計25回の会合が開催され、平成24年9月14日に『障害を理由とする差別の禁止に関する法制』についての差別禁止部会の意見」が取りまとめられた。

2. 障害福祉サービスに関する要望活動

(1) 障害者総合支援法の附帯決議

「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（通称「障害者総合支援法」）に改正するための改正法（平成24年6月27日公布、平成25年4月1日施行）について、常時介護を要する障害者等に対する支援その他の障害福祉サービスの在り方等の検討に当たっては、国と地方公共団体との役割分担を考慮しつつ、重度訪問介護等、長時間サービスを必要とする者に対して適切な支給決定がなされるよう、市町村に対する支援等の在り方についても、十分に検討を行い、その結果に基づいて、所要の措置を講ずること。

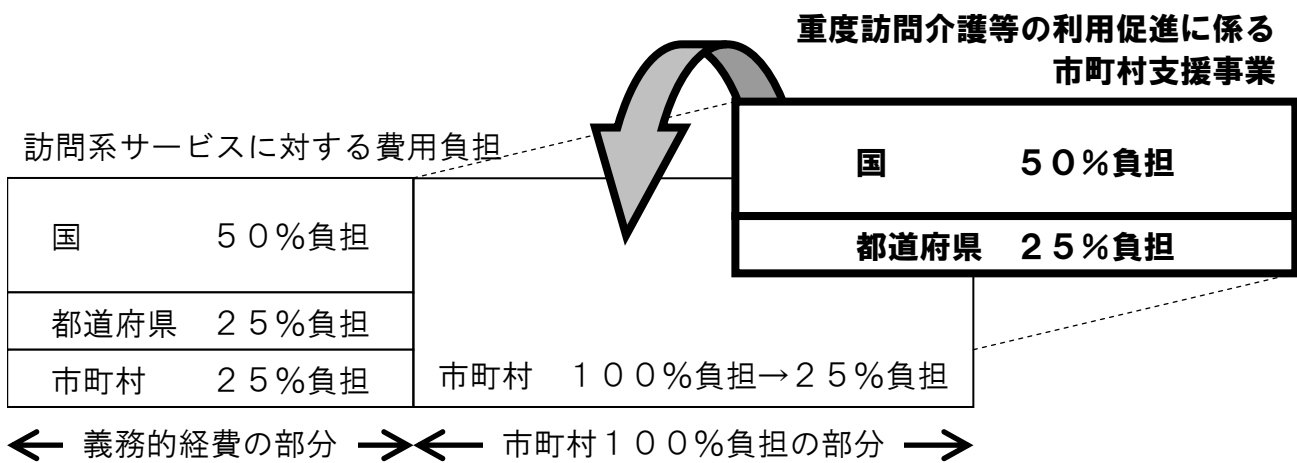
との附帯決議を行うように、自由民主党や公明党で障害者施策の中心的な役割を担っている国会議員に対して要望した。この結果、衆議院厚生労働委員会の附帯決議（平成24年4月18日）の第10項および参議院厚生労働委員会の附帯決議（平成24年6月19日）の第9項として盛り込まれた。

(2) 訪問系サービスに関する市町村財政支援

障害者自立支援法では、全国1700市町村の約1割で、全身性重度障害者に対して連続長時間の訪問系サービスを支給決定しているなどの理由で、訪問系サービスの総費用額が国庫負担基準を超過し、市町村100%の持ち出し負担が生じている。このような市町村に対する財政支援として、平成21年度から「障害者自立支援対策臨時特例交付金による特別対策事業」（通称「基金事業」）のメニューの1つとして「重度訪問介護等の利用促進に係る市町村支援事業」が創設された。さらに、平成24年度からは、時限的な基金事業から恒久的な一般会計予算の補助金事業に変更されている。

しかし、この補助金事業には、厚生労働省が確保している年間22億円では予算が不足しているため満額交付が困難であること、補助金交付対象に政令指定都市や中核市が除外されていること、などの問題点が生じている。

このため、自由民主党、公明党、民主党の各党で障害者施策の中心的な役割を担っている国会議員に対して、予算の確保と交付対象の拡大を要望した。



3. 日本障害フォーラム

日本障害フォーラム（JDF）は、当会をはじめ、障害当事者団体などの全国団体13団体が加盟して結成されている団体連絡会である。その活動目的として、障害者権利条約の批准や差別禁止法制の制定などを推進している。

平成24年度は、障害者自立支援法の改正や障害者差別禁止の法制化などの障害者制度改革への対応の協議、「国連アジア太平洋障害者の十年」やESCAPへの対応、東日本大震災の被災障害者に対する救援活動、などに取り組んだ。

また、東日本大震災の被災地支援、第三種郵便物、文部科学省「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」の報告案、運転免許の欠格条項、交通基本法案、無年金障害者問題、障害者政策委員会差別禁止部会の部会意見、成年被後見人の選挙権などについて、要望書や意見書を取りまとめている。

4. 省庁交渉

重い障害を持ち地域で普通に生活するために必要な医療、介護、年金、福祉制度、バリアフリー化等の環境整備に関する要望が全国各支部、各ブロックから提出され、毎年更新しています。

これらの多くの要望の中から、理事会で省庁交渉を行う必要があると認められる要望項目について、その根拠や福祉施策の情勢、その背景等を検討して選択しています。

平成24年度は、民主党から自民党への政権交代がある中で、ロビー活動を行うなど以下のような要望について関係省庁、民間団体、各政党または顧問等に提出しました。

①公共交通機関等による移動に関する車いす使用者の要望

11/27・1/18 国土交通省鉄道局安全・業務政策室・高速道路課・旅客輸送業務管理室
2/19 自民党ユニバーサル議員連盟 会長 石破 茂

②ATM機における車いす使用者の使い勝手の向上を求める要望

12/7 一般社団法人 全国銀行協会 企画部広報室 山田 太知

③障害者総合支援法に関する要望・障害者総合支援法付帯決議に関する要望

4/12・4/12 自民党障害者特別委員長 衛藤晟一顧問

④自立支援法に基づく訪問系サービスに係る市町村への財政支援についての要望

10/17 民主党 谷 博之参議院議員・
10/17 自民党 田村 憲久衆議院議員
10/17 民主党 岡本 充功 党厚生労働部会座長
10/18 公明党 高木 美智代 社会保障制度調査会 障害者福祉委員会委員長
10/19 自民党 小坂 憲次 参議院議員
11/20 自民党障害者特別委員長 衛藤晟一顧問
11/24 自民党 菅原 一秀 衆議院議員
11/24 公明党 渡辺孝男 党厚生労働部会長

⑤尊厳死法制化に反対する声明文及び修正についての意見

4/27 尊厳死法制化を考える議員連盟
5/16 自民党 あべ俊子 尊厳死議連事務局長
7/12 尊厳死法制化を考える議員連盟 会長 増子 輝彦

⑥障害者雇用納付金制度に基づく助成金についての要望

11/16 自民党 田村 憲久 政務調査会厚生労働部会副部会長

11/20 厚生労働省職業安定局長

⑦平成25年度当初予算及び平成24年度補正予算編成に当たっての要望

1/7 自民党 高市 早苗 政務調査会長並びに組織運動本部長 竹下 亘

⑧サテライト型グループホーム制度の創設についての要望

2/28 厚生労働省 辺見 聡 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課長

⑨居宅介護事業所のサービス提供責任者が施設入所者の地域移行などを支援することについての要望

2/28 厚生労働省 阿萬 哲也 地域移行・障害児支援室長

⑩障害者差別禁止法制についての要望

3/4 公明党 高木 美智代 社会保障制度調査会 障害者福祉委員会委員長
山本 博司 事務局長

3/21 自民党障害者特別委員長 衛藤晟一顧問

【4】体育振興事業

平成24年度は、下記のスポーツ競技大会等に後援または協賛し、広く障害者の体育の振興を図りました。

- (1) 内閣総理大臣杯争奪 第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会
平成24年5月2日～4日
- (2) 厚生労働大臣杯争奪 第25回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会
平成24年6月2日～3日
- (3) 第12回ピパオイカップ車いすバスケットボール選手権大会
平成24年8月25日～26日
- (4) 第21回理事長杯争奪 東北ブロック車椅子ゲートボール岩手県大会
平成24年9月16日
- (5) 関東甲信ブロックグラウンドゴルフ大会・長野県大会
平成24年10月28日～29日

【5】電動車いす寄贈先推選事業（メイスン財団助成事業）

メイスン財団が、「身体障害者の自立及び福祉向上を目指し、電動車いすを寄贈する」という目的で行っている、寄贈先推薦事業は、全国各支部と協働して実施した結果、2012年度は、「社会福祉法人A J U自立の家 アジア障害者支援プロジェクト」を対象施設に決定し、電動車いす1台が寄贈されました。

3、福祉関係調査研究事業

【1】脊髄損傷患者の社会参加ガイドブック製作事業

(2012年度自賠責運用益拠出事業)

2012年度から3年計画で自賠責運用益拠出事業として再スタートした、「脊髄損傷患者の社会参加ガイドブック製作事業」は、Together 3「褥 瘡」を3千冊製作しました。

ガイドブックは、全国各支部をはじめ、全国の医療施設やリハビリテーション施設600箇所及び各関係者に配布付した他、ホームページにPDFで掲載し、誰でもコピーして取り出せるようにしました。

また、希望に応じて無料配布ができる体制を整えるなど、脊髄損傷患者や重度障害者の社会

参加を支援する事業を実施しました。

製作に当たっては、第9回全国総会広島県大会においてシンポジウム「家庭でできる褥瘡予防と最新治療方法」でご講演戴いた医学博士茂木定之先生の執筆、監修など全面的なご協力によって完成させました。

本ガイドブックは、褥瘡は治らないものとするのではなく、社会参加を続けながらも適切なスキンケアを行うことで、必ず治るという考え方に基づいた茂木先生の治療方針とその解説がまとめられています。

『ガイドブック事業の概要』

脊髄損傷患者の社会復帰に必要な全ての情報を各カテゴリー別にまとめた、具体的でわかりやすいツールは未だにないのが実情であり、患者に提供する情報は全国的に認識がまちまちで、単に経験のみに頼っているなど統一されていないため、ピアサポート活動の有効性が発揮されない場合があるなかで、脊髄損傷患者の多様なニーズに的確に、そして全国どこでも直接応えられる多種多様で恒久的な情報を調査研究し、その集大成の情報をガイドブックとして提供することが患者の社会参加を支援することに有効である。

『事業実施計画』

自賠責運用益拠出事業としてスタートした「脊髄損傷患者の社会参加ガイドブック」製作事業の初年度は褥瘡予防編を製作し、次年度は住宅改造編、就労編、自動車運転編、福祉制度編、福祉機器編、エンパワメント編の製作を予定する。また、3年次として、介護制度編、スポーツ編、所得補償編、レクリエーション編、性生活編の各カテゴリー別のガイドブックを製作し、それぞれのニーズに応じて提供する。

【2】福祉機器等のモニター募集及びアンケート調査の実施

(1) 旅行実態アンケート調査の協力

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課が実施主体となり、誰もが安心・安全・快適に旅行できる環境をつくるため、各種調査を進めており、その一環として旅行実態や要望等を把握するため、実施委託者の公益財団法人日本交通公社 観光調査部からアンケート調査の依頼があり、全脊連の25支部から各20名、計500名を対象にアンケート調査を実施しました。

(2) 「避難における総合的対策の推進に関する実態調査」の協力

内閣府からの依頼で、全脊連は東日本大震災の被災支部である青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県支部の会員各位にアンケート調査をお願いしました。

4、公益社団法人への移行申請の進捗状況

昨年の第11回全国総会青森県大会で可決された事業計画に沿って、公益社団法人への移行認定申請書の作成と内閣府への電子申請提出に向け、精力的に外部委員の協力のもと鋭意取り組んできたその経過についてご説明いたします。

1、組織作り

内閣府の公益等認定委員会の8月の相談会に定款の改定の案を提出し、認定委員会参事の相磯義明氏（厚生労働省からの出向参事）の事前審査を受けました。

重大な指摘事項は、公益認定を受けた時点で、法人の「議決機関（意思決定の法的根拠）」が存在しなくなるとの指摘があり、定款附則に第5項を追記し、特例民法法人の社員総会において、社員となる「代議員」を選任し、選任された代議員が法上の「社員」となる事を規定することで、認定委員会との間で調整を図りました。

この調整の結果、各支部に「代議員の定数の通知と選挙の実施」のお願いの文書を発出しました。従来は、団体加盟会員の支部長が自動的に法上の「社員」と規定されていたところを新定款上代議員制度に基づく代議員選挙で選ばれたものが法上の社員となりますが、代議員の選任が完了したのはこの総会の直前になりました。

2、申請書の作成

ワーキングチームの設置、C I Lふちゅうの鈴木研税理士、千葉均専務理事、赤城喜久代専務理事、東京都支部の大濱支部長と土屋さんからなる財務諸表作成のチームと松本昌社会保険労務士、玉木一成理事からなる、法人の基本情報並びに公益目的事業案の作成・各種規定・規則の作成チーム、妻屋明理事長、千葉専務理事の代議員選挙実施チームWGが作業を分担し、10月の理事会において、公益社団法人移行のフレームが出来上がり、理事会は移行認定申請の代理人（松本昌社会保険労務士）に申請を依頼しました。

3、移行認定申請書の提出

12月28日に電子申請と別紙資料を添えて内閣府公益等認定委員会に第1回目の公益社団法人への移行認定申請書の提出を行いました。

4、ヒアリング

認定委員会事務局と全脊連、C I Lふちゅう、東京都支部の会議（事前審査及び指導）が1月25日公益等認定員会で開催され、公益認定委員会から21の項目と定款の改定の案の誤字の修正の範囲内で修正できる項目6か所の「メモ」が交付されました。

全脊連とC I Lふちゅう、東京都支部は、この21項目の回答を1か月以内で提出することで合意。「メモ」には、重要な事項も含まれているため、「期日報告」の文書にまとめ、理事と各支部長に配信する一方、回答する項目の担当者を決めました。

急所は、定款の目的と事業の関係で、厚生労働省との調整が必要との指摘で、第4条の事業の内容(ii)から(vi)までの事業が「自立支援法に基づく事業」とする標記は、平成25年4月から「障害者総合支援法に基づく」に変更されることになるが、その標記の変更作業がされていないということで、厚生労働省社会福祉部企画課の斎藤一志係長と玉木理事の調整の結果、定款変更の猶予期間内の6月の総会で定款の改定案の改定を行うことで決着しました。

5、課題

3月25日までに一部支部において代議員の選任届が出ていないことや、東京都支部の24年度事業計画がそろっていないことから、定款の「目的」・「事業」・「役員報酬規定」・「設立当初の役員の氏名の変更」などを第12回総会において所要の変更を行い、総会后速やかに第2回目の公益移行認定申請を行ことにしました。

5、会議の開催等

【1】第11回全国総会青森県大会の開催

第11回総会青森県大会は、平成24年6月1日(金)～3日(日)の3日間の日程でホテル青森において、会員やそのご家族、ボランティアなど合わせて約100名が参加して開催され、青森県支部の総力と東北ブロックの協力により大会は無事成功裏に終了することができました。

第1日目は、16時より代表者会議が開催され総会に向けての案内とスケジュールの説明が行われたほか、主に公益法人への移行問題等について意見調整が行われました。

また、この日「独立行政法人 自動車事故対策機構」被害者援護部マネージャーの根田 雅秀氏が出席し、自動車事故対策機構の業務活動の説明が行われた。

第2日目には開会式典が行われたのに続き、「東日本大震災復旧・復興支援シンポジウム」が一般公開で開催されました。

午後の総会では、第1号議案平成23年度事業報告、第2号議案決算報告、監査報告、第3号議案平成24年度事業計画、第4号議案収支予算案が本部提案通り採択されました。

また、第5号議案のその他の案件では、次年度の全国総会を富山県大会と決めたほか、決議文の朗読と最後に大会スローガンが採択され総会を終了しました。

尚、今大会には本部招待参加者として、普段から全脊連を支援して頂いている柵屋敬悟顧問ご夫妻、ファイザー株式会社から奥澤徹氏、日本損害保険協会から大坪護氏の4名に参加して頂きました。

【2】理事会の開催

平成24年度の理事会（拡大理事会1回を含む）は、第84回理事会～第90回理事会の計7回開催し、全脊連の諸活動やその運営を行いました。

① 第84回理事会

開催日 平成24年5月6日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 8名 委任状提出者 4名 CILふちゅう 3名

② 第85回理事会

開催日 平成24年7月14日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 9名 委任状提出者 3名

③ 第86回理事会

開催日 平成24年9月23日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 8名 委任状提出者 2名

④ 第87回理事会

開催日 平成24年10月21日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 8名 委任状提出者 1名

⑤ 第88回理事会

開催日 平成24年11月18日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 8名 委任状提出者 5名 CILふちゅう 2名

⑥ 第89回理事会

開催日 平成25年1月20日

会場 目黒区心身障害者センター「目黒あいアイ館」（東京都目黒区）

出席者 8名スカイプ出席1名 委任状提出者 4名 CILふちゅう 2名

⑦ 第90回理事会（拡大理事会）

開催日 平成25年3月25日

会場 東京都障害者スポーツセンター 集会室

出席者 14名 委任状提出者 1名

【3】各ブロック会議の開催

- ① 第35回東北ブロック会議・岩手県大会
期 日 平成24年9月15日
会 場 ホテルシティプラザ北上
◎第20回理事長杯車いすゲートボール大会 9月16日
※本部から妻屋理事長が出席した。
- ② 第36回北越四県ブロック会議・新潟県大会
期 日 平成24年7月8日(日)～9日(月)
会 場 道の駅うみてらすなだち(内)ホテル光鱗
※本部から妻屋理事長が出席
- ③ 第35回関東ブロック会議・東京都大会
期 日 平成24年9月9日(日)
会 場 第一ホテル 両国(国際ファッションビル)
シンポジウム 「医療的ケア」の開催
◎本部からは、妻屋理事長はじめ各理事が出席
- ④ 第35回近畿東海ブロック会議・和歌山県大会
期 日 平成24年9月22日(土)
会 場 プラザホープ(和歌山県勤労福祉会館)4Fホール
※本部から妻屋理事長、大濱副理事長が出席
- ⑤ 第36回九州ブロック会議・大分県大会
期 日 平成24年10月12日(金)・13日(土)
会 場 ホテル サンバリーアネックス
※本部から大濱副理事長、玉木理事が出席

6、その他の活動

1、各理事その他の活動

(妻屋理事長)

- *かわさき基準推進協議会出席 4/18、11/5 2/5 3/12 認証式
- *日本の福祉を考える会出席 5/16 11/20 2/21 自民党本部 6/19 11/28 都市センターホテル
- *本部理事会出席 5/16 7/14 9/23 10/21 11/18 1/20 目黒愛あい館
- *公共交通機関の移動円滑化整備ガイドライン検討委員会出席 5/22 8/10 9/27
- *第11回全国総会青森県大会出席 6/1～6/2
- *岩手県陸前高田ひかみの湯関係施設挨拶廻り 6/3
- *再生医療講演会(文部科学省主催)参加 6/17
- * (財) 共用品推進機構評議委員会出席 6/22 3/19
- *交通エコロジー・モビリティ財団評議員会議出席 6/27 3/18
- *北越ブロック会議新潟県大会出席 7/8 7/9 名立ホテル光鱗
- * (財) 共用品推進機構活動報告会出席 7/12

- * IT 版全国車いす宿泊ガイド澤社長との打ち合わせ 7/16
- * 災害対策関連勉強会出席 7/17 かながわ県民センター
- * 公益財団法人共用品推進機構歯科医師会座談会出席 7/20
- * 脊損ニュース編集会議出席 8/1
- * アクセサブルデザイン検討委員会出席 8/21 10/2 11/30 1/21
- * 関東ブロック会議東京大会出席 9/8~9/9 両国
- * 東北ブロック会議岩手県大会出席 9/15~9/16
- * 弁護士法人サリュウと脊損の交通事故に関する面談 9/18 横浜事務所
- * 近畿ブロック会議和歌山県大会出席 9/21~9/22
- * 赤い羽根共同募金活動参加 10/1 横浜駅西口
- * 海上交通バリアフリー検討委員会出席 10/3 交通エコロジー・モビリティ財団
- * 日本障害者協議会代表者や会議出席 10/17
- * 福祉機器開発普及等事業「福祉用具有識者会議」出席 (テクノエイド) 11/27 3/18
- * 公共交通機関等による移動に関する車いす使用者の要望活動 11/27・1/18 国土交通省
- * 千葉県支部忘年会出席 12/1~12/2
- * 厚生労働大臣賞授与式出席 (厚生労働省) 12/6
- * 一般社団法人全国銀行協会との交渉 12/7
- * IT 版全国車いす宿泊ガイド合同会議出席 12/16
- * 公益財団法人テクノエイド協会新年会出席 1/24
- * 内閣府公益認定委員会ヒアリング出席 1/25
- * アクセサブルデザインシンポジウム出席 2/15
- * 埼玉県支部新年会出席 2/16
- * 日本リハビリ連携科学会千葉県大会参加 3/9
- * クレア・フリーマンのセミナー参加 3/16 大阪ビッグアイ
- * 拡大理事会出席 3/25 東京都障害者スポーツセンター
- * 中央障害者社会参加促進センター委員会出席 3/27

【平成24年度委員等就任状況】

- 1、公益財団法人共用品推進機構評議員
- 2、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ評議委員
- 3、支援機器の開発・普及に向けたネットワーク推進事業懇談会メンバー (テクノエイド協会)
- 4、中央社会参加推進協議会委員 (日身連)
- 5、かわさき福祉産業振興ビジョン検討委員会委員
- 6、国内旅客船バリアフリー化推進のための調査研究委員会委員 (エコモ財団)

(大濱副理事長)

- 4月 1日 (日) 東京支部役員会
- 4日 (水) 差別禁止集会 (参議院)
- 8日 (日) 運動器の10年
- 9日 (月) 都議会
- 12日 (木) 議員会館 (衛藤晟一議員)
- 17日 (火) D P I
- 19日 (木) 都議会
- 23日 (月) J D F 幹事会

- 27日(金) 尊厳死勉強会
- 5月 2日(水) 厚生労働省
- 6日(日) S I J 役員会
- 7日(月) 障連協
- 9日(水) 尊厳死勉強会
- 14日(月) 都議会自民党
- 16日(水) J D F 震災・議員会館 (初鹿議員・衛藤議員)
- 17日(木) 憲政記念館
- 20日(日) 東京支部役員会・総会
- 22日(火) J D F 震災
- 26日(土) ~27日(日) 頸損連絡会総会 松山
- 30日(水) 差別禁止集会(参議院)・J D F
- 6月 1日(金) ~3日(日) 全国総会 青森
- 15日(金) 都議会自民党
- 16日(土) 東京支部役員会
- 17日(日) i P S パシフィコ横浜
- 19日(火) 議員会館(衛藤晟一議員)
- 20日(水) 障連協
- 22日(金) 厚生労働省
- 27日(水) J D F 幹事会
- 29日(金) 差別禁止集会(参議院)
- 7月 2日(月) J D F 震災・議員会館(森英介議員)
- 3日(火) 都議会自民党
- 11日(水) 議員会館(高木美智代議員)
- 12日(木) 尊厳死
- 19日(木) 全社協
- 22日(日) 東京支部
- 23日(月) 政策委員会・首相官邸
- 26日(木) J D F 幹事会
- 8月 1日(水) 尊厳死
- 8日(水) 慶應 再生医療研究所
- 11日(土) 東京支部役員会
- 18日(土) ~19日(日) D P I 常任委員会
- 20日(月) 政策委員会
- 23日(木) J D F 幹事会
- 30日(木) 議員会館(衛藤晟一議員)
- 31日(金) 差別禁止
- 9月 2日(日) 東京支部役員会
- 6日(木) 障連協
- 7日(金) 都議会自民党
- 10日(月) 政策委員会
- 14日(金) 差別禁止部会
- 15日(土) S I J

- 18日(火) JDF幹事会
- 20日(木) 議員会館(高木美智代議員)
- 21日(金) 議員会館(衛藤晟一議員)
- 22日(土) 近畿東海ブロック会議 和歌山
- 23日(日) SIJ理事会
- 27日(木) HCR
- 29日(土) BMI 東京国際フォーラム
- 10月 1日(月) 政策委員会
- 7日(日) DPI
- 12日(金) ~13日(土) 九州ブロック会議 大分
- 15日(月) 政策委員会
- 17日(水) 全社協・JDF幹事会
- 18日(木) 議員会館(高木美智代議員)
- 19日(金) 議員会館(小坂憲次議員)
- 21日(日) SIJ理事会
- 22日(月) 政策委員会
- 24日(水) 議員会館(菅原一秀議員・渡辺孝男議員・衛藤晟一議員)
- 11月 5日(月) 政策委員会・都議会自民党
- 7日(水) 差別禁止
- 8日(木) 都議会自民党
- 11日(日) 東京支部
- 12日(月) 政策委員会
- 16日(金) 目黒区障害福祉課・議員会館(田村憲久議員)
- 18日(日) SIJ
- 20日(火) 議員会館(衛藤晟一議員)
- 26日(月) 政策委員会
- 28日(水) JDF幹事会・議員会館(衛藤晟一議員)
- 30日(金) 弁護士会館
- 12月 1日(土) ~2日(日) DPI政策集会
- 4日(火) 議員会館(菅原一秀議員)
- 6日(木) JDFフォーラム
- 10日(月) 政策委員会・都議会自民党
- 12日(水) JDF震災
- 14日(金) 全社協
- 15日(土) ~16日(日) DPI
- 17日(月) 政策委員会
- 18日(火) 議員会館(菅原一秀議員)
- 20日(木) 議員会館(高木美智代議員)・目黒区障害福祉課
- 21日(金) 議員会館(菅原一秀議員)
- 22日(土) 東京支部役員会
- 23日(日) 差別禁止フォーラム 福岡
- 25日(火) JDF
- 1月20日(日) SIJ理事会

- 28日(月) JDF幹事会
- 2月 2日(土) 東京支部
- 5日(火) 障連協
- 12日(火) 障連協
- 19日(火) バリアフリー議連
- 25日(月) JDF幹事会
- 26日(火) 自民党
- 14日(木) 障連協
- 18日(月) 都議会自民党
- 19日(火) 議員会館(武見敬三議員)
- 21日(木) 自民党
- 24日(日) 東京支部役員会
- 29日(金) JDF幹事会
- 3月 14日(木) 障連協
- 18日(月) 都議会自民党
- 19日(火) 議員会館(武見敬三議員)
- 21日(木) 自民党
- 24日(日) 東京支部役員会
- 25日(月) 拡大理事会
- 29日(金) JDF幹事会

【平成24年度委員等就任状況】

障害者制度改革推進会議委員(内閣府)

障害者制度改革推進会議総合福祉部会委員(内閣府)

DPI日本会議常任委員

(赤城専務理事)

- * 理事会 5/6 7/14 9/23 10/21 11/18 1/20
- * 拡大理事会 3/25
- * 青森総会 6/1~6/3
- * 経理会議・監査 5/11
- * 総会議案書校正 5/22 5/29
- * 総会予算書作成 5/29
- * 神奈川県支部総会 6/23
- * 脊損ニュース編集会議 8/1
- * 脊損ニュース校正 4/6 5/9 6/6 7/5 8/4 9/6 10/5 11/7 12/4 1/10 2/9 3/9
- * 宿泊ガイドブック会議 12/16
- * 全国銀行協会との交渉(ATM改善の要望) 12/7
- * 厚生労働省の検査立会い 2/21
- * 神奈川県福祉サービス運営適正化委員会 6/7 3/7
- * 神奈川県支部役員会 4/15 6/23 8/11 10/14 12/24 2/10
- * 共同募金活動 10/11
- * 横浜萬珍楼 10/26
- * 神奈川県支部ピアサポート 11/11 11/29 12/27 1/26

- * 神奈川県支部医療セミナー 11/25
- * 神奈川県支部忘年会 12/24

(澤藤理事)

- * 公益法人移行検討委員会等 9/15
- * かわさき基準企画評価運営委員会等 5/18、2/5、3/12
- * 理事会 5/6、7/14、10/21、11/18、1/20
- * 通常総会 6/1~6/3
- * 関東ブロック会議 9/9
- * その他自宅にて、E-Mail 及びファックスによる情報配信を行っています。

(佐々木理事)

- * 全国総会青森県大会 6/2~6/4
- * 臨時理事会 9/24
- * 関東甲信ブロック会議東京都大会 10/1~10/2
- * 省庁交渉 10/11
- * 理事会 5/26、7/30、10/10、2/26
- * 関東甲信ブロックグラウンドゴルフ大会・長野県大会 10/28~10/29
- * 臨時総会 11/28
- * 関東ブロックピアマネジャー現認者研修・茨城県 2/11
- * 第90回(拡大)理事会出席 3/25

(玉木理事)

- * 災害時・緊急時に対応した避難経路等のバリアフリーと情報提供のありかたに関する研究会
12/26・1/8・2/4・3/5
- * バリアフリー研究会(国土交通省) 8/3・1/18
- * 日本の福祉を考える会 11/20・2/21

他支部行事への参加

- * 千葉県支部 グラウンドゴルフ大会・千葉リハ講習会・笑飯の会・ブドウ狩りとバーベキュー・忘年会・みんなの音楽会
- * 栃木県支部 運動会
- * 埼玉県支部 新年会

ブロック主催

- * 大分県(九州ブロック総会)
- * 茨城県(ピアサポート現認者研修)
- * 全国総会(青森県大会)
- * 理事会 7/14・10/20・11/18・1/20・3/25(拡大理事会)

その他

- * 自由民主党政策懇談会 11/28
- * ライブハウスバリアフリー体験会(沖縄) 2/22・2/23・2/24
- * 公益等認定委員会フォーラム(日本学術会議講堂) (1/29)
- * JDF フォーラム(12/6) 東日本大震災から二年 DVD ラッシュ参議院議員会館 (3/5)

【平成24年度委員等就任状況】

JDF 企画委員会委員

バリアフリー検討委員（千葉専務理事代理）

災害時・緊急時に対応した避難経路等のバリアフリーと情報提供のありかたに関する研究会
(千葉専務理事代理)

(小島理事)

- * 理事会 5/6、7/14、9/23、11/18、1/20、
- * 国交省交渉取材 1/18
- * 拡大理事会 3/25
- * 脊損ニュース 各月 20 日より編集、入稿、校正作業担当

(小林理事) 東北ブロック活動

- 4/8 東北ブロック代表者会議（11：00～北上市総合福祉センター）
各県支部 14 名出席
- 4/16 代表者会議議事録 送信
- 6/01 第 11 回連合会総会青森大会 代表者会議
- 6/02 式典、シンポジウム、本会議
- 6/13 ブロック会議提案案内、代議員名簿提出願い送信
- 6/16 第 84 回理事会（欠席 委任状提出）
- 7/12 岩手県支部よりブロック会議開催要項 受信
- 7/12~13 訂正、修正と行き各県支部へ送信
- 7/14 (東北車イスゲートボール連盟主催大会)
- 7/14 第 85 回理事会（欠席委任状提出）
- 8/07 山形花笠祭見学（交流事業検討）
- 9/15 東北ブロック会議岩手大会（岩手県北上市ホテルシティプラザ北上）
代表者会議、式典、本会議
- 9/16 《第 21 回理事長杯争奪車イスゲートボール大会》（北上市北部勤労者屋内運動場）
- 9/23 第 86 回理事会出席（13：00～17：00 東京目黒あいアイ館）
公益申請進捗状況、24 年度前期分ピアサポート報告状況等
- 10/14 『東北ブロック支援相談員（ピアマネージャー）研修会』（13：30～コラッセふくしま）
講師 千葉県支部長 石井正彦氏、支部会員 一般参加も含み 33 名
- 10/21 第 87 回理事会出席（13：00～17：00 東京目黒あいアイ館）
震災支援金残金再配分決定等
- 11/18 第 88 回理事会出席（13：00～17：00 東京目黒あいアイ館）
- 1/11 本部会員数、九州ブロック議案書、代表者会議日程等資料 送信
- 1/16 第 89 回理事会スカイプで出席（13：00～17:00 自宅で）
- 3/25 第 90 回（拡大）理事会出席（10：00～東京都障害者総合スポーツセンター）

他にブロック内事業の連絡調整、本部への請求、本部理事と連絡調整等を行う。